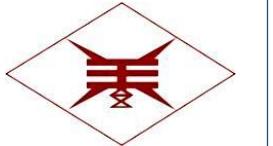


丘の上の学舎

～若い芽・強い木・愛の花～

令和7年12月2日



大事にしたいこと

人生100年時代と言われています。「100年か・・・」と将来のことをぼんやり考る程度でしたが、人生の後半戦を迎えるとする年齢になり、最近はこれまでどんな人生を歩んできたか、また、これからどうなっていくのかを考えることができました。

さて、諫早特別支援学校に赴任して2年目となり、相変わらずバタバタしながらも生徒たちの元気、笑顔に支えられ日々の生活を気持ちよく送ることができます。ありがとうございます。周りの人たちの助けとありがたい環境のおかげで「今が一番いい！充実しています！」と胸を張って言えます。よく「昔はよかったな、楽しかったな・・。」という言葉を聞きますが、どうでしょうか。よく考えると何だかもつたないような気がします。思い出は大切です。そう思いますし、私も大切にしています。

しかし、私は未来を見据え、少しずつでもよいので前に進めるようになります。

もちろんきついときは立ち止まり、周囲を頼ります。現代は、将来の予測が困難な時代と言われており、VUCA（変動性・不確実性・複雑性・曖昧性）の時代とも言われています。そんな時代と向かい合い、対応しながら自分しさを表現できる高等部の生徒たちであってほしいと願っています。私自身も時代から大きく取り残されないようにアップデートしていきたいものです。



小学部文化祭「キラッ★とフェスタ」

11月1日（土）、小学部、訪問教育の文化祭「キラッ★とフェスタ」が開催されました。

6年生児童会のオープニングから始まり、「さるかにはなし」「ザ・いさはやーず！全員集合」「3びきのこぶた」「おむすびころりんコロコロリン」「Isa Tube～主役は私～」の演目がありました。児童一人一人が日頃の学習ができるようになったことを劇等のストーリーの中で披露してくれました。可愛くて立派な発表に、会場はたくさんの笑顔と拍手でいっぱいになりました。



木谷隆行杯 長崎県特別支援学校 ボッチャ大会

11月29日（土）、本校体育館にて木谷杯ボッチャ大会が行われました。木谷さんは本校の卒業生で、リオデジャネイロパラリンピックで銀メダルをとられた方です。本校からは中学部、高等部の生徒9名が参加しました。全員が健闘し、結果は諫早特支Bチームが準優勝でした。学校やチーム等関係なく、お互いのナイスプレーに拍手や声援を送り合うなど、とても良い雰囲気のボッチャ大会でした。



中高文化祭「糸～つながるココロ ひろがるミライ～」

11月22日（土）、中学部及び高等部、訪問教育の文化祭が行われました。舞台発表では、和太鼓同好会の演奏「華」、高等部「まるごと日本～みんなで奏でる旅模様～」、訪問教育「2025外への旅」、中学部「へいわとせんそう」を披露しました。小学部文化祭の発表とはまた一味違って、現代の世の中に向けたメッセージ性のあるもので、中高校生らしい感動的な内容でした。その後職業や作業で作成した品物のバザーが行われ、最後は全員合唱「手をつなごう」を楽しく歌いました。サブテーマのように皆の心がつながり、未来が広がるような文化祭でした。文化祭に参加していただいた全保護者の皆様、ありがとうございました。



～PTA研修会「お茶の淹れ方講座」～

11月18日（火）、PTAふれあい部主催の研修会が行われました。彼杵の尾上製茶さんが来校され、お茶の種類や製法、淹れ方等を丁寧に教えていただきました。一言でお茶と言っても様々な種類があることを知りました。また、尾上先生の指導のもと実際にお茶を淹れる体験では、同じ茶の葉でも、お湯の温度や蒸らす時間、注ぎ方で味が全く変わることなどを発見。あちこちで「こっちが美味しい！」など気付きの発言が聞こえてきました。日頃、忙しい時間を過ごしておられる保護者の皆さん、お茶の淹れ方や味に集中したり、お茶の味を味わったりしてリフレッシュできたのではないでしょうか。尾上製茶の方、研修会の準備をしてくださった保護者の皆様、ありがとうございました。



「Hodaka Book」を寄贈していただきました

本校卒業生である織田帆尊さん（現在大学4年生）が「Hodaka Book」という長崎グルメの本を作成し、本校に寄贈していただきました。織田さんが実際に長崎市内のお店へ出掛け、車椅子利用での利便性等を車椅子ユーザーの視点から紹介をされています。2年前にPTAで作成された「月桂樹第7号」にも、保護者さん目線で諫早市、大村市のお店を紹介していただきました。

織田さんのように発信することにより、車椅子でも利用しやすい施設が多くなると思います。「Hodaka Book」は図書室にありますので、ご覧ください。

